

ベンチャービジネスコンテストにチャレンジを！

## 入門講座・ワークショップ開催

学生部主催のベンチャービジネスコンテストが今年も開催される。コンテストに先立ち、ベンチャー入門講座(6回)、同ワークショップ(5回)が行われた。

ベンチャー企業の経営者たちが体験を語る、入門講座の講師には卒業生も登場。環境関連産業のパイオニアを目指す、(株)サティスファクトリーインターナショナル代表取締役・小松武司氏(平2商)、アパレル販売を中心としたインターネット事業など、五つのビジネスを展開している、(株)Zeel代表取締役・尾関茂雄氏(平11法)が起業のきっかけや苦労などを披露した。

最終回の尾関氏は、イベントサークルを立ち上げた学生時代から現在までを振り返り、「とにかく行動すること。『人』とは違うものを見つけ出し、得意なこと・好きなことを磨いていく『自分のブランドづくり』をすることが大切」と後輩たちを激励、「生活の質を高めるサービスを今後も提供していきたい」と抱負を語って締めくくった。

## 県人会北から南から ◆特別版◆

### フレッシュマンキャンプ

新入会員同士の親睦を図る「フレッシュマンキャンプ」(トータルリーダー＝山田敬さん・経済4、群馬県高崎北高)が6月24日から26日まで、山梨県・浜の家キャンプ場で行われた。1年次生ら89人が参加し、スポーツレクリエーションやキャンプファイヤーなどを通じ、交流を深めた。

また、川島正次郎杯争奪野球大会は天候不良などで前期はベスト16で中断。残り試合は9月末に行われる予定。

## 「自己啓発奨学生」に応募してみよう

昨年実施された、情報処理技術者試験テクニカルエンジニア(ネットワーク)試験に合格したネットワーク情報学部3年次の染谷知臣さんに自己啓発奨学生としての奨学金が6月8日、学生厚生部長から手渡された(染谷さんのインタビュー記事・同試験の詳細は2月号既報)。

同奨学生制度は、学術・文芸・スポーツ・社会活動などの分野で優れた業績を達成し、さらに高い目標に挑戦する個人及び団体(または達成が期待出来る個人及び団体)が対象で、自己推薦制となっている。詳細は学生生活課窓口へ。

川崎市主催「空き店舗アイデアコンペ」

## 商店街の活性化に

川崎市主催で空き店舗を減らし、商店街のにぎわいを取り戻すアイデアを高校生や大学生などの若い柔軟な視点から募集する「商店街空き店舗アイデアコンペ」が実施される。アイデアは、HP上のアイデアバンクで商店街関係者が自由に閲覧出来、活性化の参考にする。審査内容は、「新規性」「話題性」「集客性」「実現可能性」「商店街全体の活性化につながるか」で、特定の商店街を想定したアイデアも可能。1次審査(書類審査)を通過した6人(団体)が15分間のプレゼンテーションの本審査に臨む。

川崎市内に266ある商店街では、その8割以上に空き店舗が存在するという。同じ市内にある大学の学生として、生活者の立場からプランを練り、日ごろの学習の成果をぜひ表現してみよう。

応募期間は9月5日(月)～30日(金)必着。所定の用紙に記入の上、直接持参するか郵送で。問い合わせは川崎市経済局商業観光課 電話044(200)2330へ。※本学のホームページからも応募用紙をダウンロードすることが出来ます。

## ◀留学生からのメール -3-▶

### 世界中から来た留学生と交流

中期留学生  
(ワイカト大学 <NZ>)  
山岡太郎(経営2)

中期留学に出発して2カ月が経った今、留学前と後では大きな変化がありました。ニュージーランドに着いた当初は、まず頭の中で日本語で考えてから相手に伝えていましたが、2カ月経って、長く考えることなしに相手に伝えられるようになりました。それは、ひとえに先生と授業内容の質の高さにあったと思います。最初の1カ月間は、朝9時から始まる午前の授業に続いて昼の授業と、忙しい日程をこなすのが精いっぱい。さらに宿題、その日の復習、翌日の内容に目を通す毎日でした。2カ月目に入ると、先生とのコミュニケーションも取りやすくなり、スムーズに毎日の授業を受けられるようになりました。週末には、クラスで知り合った友達の家遊びに行ったり、いろいろな場所に出掛けたりと素晴らしい自然を満喫しました。毎週3回午前のクラスの先生と一緒に授業前の朝、水泳をしたことも貴重な経験で、会話の上達に役立ちました。

ホームステイ先の家族との交流はこの留学で一番大切なことであり、英語力の手助けとなる最高のパートナーです。学校から帰ると「今日の学校はどうだった？」と聞いてくれます。特に食事中は、家族皆が揃っており、僕が話し始めると、みんなが真剣に聞いてくれました。このことは、会話に自信のなかった自分にとって、とてもうれしいことでした。学校でも、同じクラスの韓国人や中国人などいろいろな国の人と、お互いに英会話の上達のためによく話をしました。世界中から来たさまざまな人種や国籍、そしてまったく文化の違う者同士が、一つの言語で分かり合えるというのは、大変すばらしい経験だと今、実感しています。(山岡さんは留学を終え6月26日に帰国しました)

## 05年度(平17)夏期留学プログラム参加一覧

## 4大学へ77人

オレゴン大学(アメリカ) 8/2~8/28	ブリストル大学(イギリス) 8/2~8/28	檀国大学(韓国) 8/2~8/27	マルティン・ ルター大学 ハレ・ヴィッ テンベルク(ドイツ) 8/2~8/21
小出 麻美(経済3)	森 誠一郎(経済3)	益田 琢史(経済3)	林 奈緒子(経済2)
鈴木 克奈(経済2)	福田 潤( " )	高見澤 翔(経済1)	渡辺 晃良(経済1)
山田 雄二( " )	小出 克( " )	松島 健介( " )	浦野 慧祐( " )
大澤 美幸( " )	高橋 祐貴( " )	一岡 隆洋(法 2)	芹口 直美(法 4)
塚原 千絵(経済1)	宮下 真季(経済2)	竹本 淳一( " )	山下 智( " )
熊木 丈洋( " )	山本 明奈( " )	橋本 将紀( " )	松本 晋也(法 2)
茂呂いづみ(法 4)	清水 省吾(法 3)	光武 真衣(経営3)	清宮 大輔(経営3)
勝谷 裕史(法 3)	岡田 拓朗(経営3)	木原 梢恵(商 3)	奥田真結子(文 1)
楠 幸太(法 2)	金井美帆子(商 3)	鈴木 由美( " )	大橋 聡(二部法3)
齋藤 篤史(経営3)	篠崎 英里(商 2)	加藤 泰史(商 2)	
西川 奈実( " )	篠原 晴子(文 3)	金本 秀哲(商 1)	
島田 健司( " )	大井 啓之( " )	梅田 知世(文 2)	
市川廣一郎( " )	今坂真理子( " )		
渡辺 智之(経営2)	曾部 孝之( " )		
佐々木繭子( " )	岩田ひかる( " )		
津本あすか(商 2)	長嶺つかさ( " )		
木村 恭介( " )	本間 沙弓( " )		
高橋 明子( " )	山田 裕香(文 2)		
加藤亜以子(文 3)	水口健太郎( " )		
大関真理子( " )	遠藤由紀子( " )		
和泉 実穂( " )	吉田 安希( " )		
谷合 美紀( " )	西海 縁(文 1)		
渡野亜季子( " )	野北 瑞貴( " )		
久江 聡子( " )	渡邊 翔太( " )		
山田健二郎( " )			
小松 裕美(文 2)			
永井 歩( " )			
都築 謙三( " )			

片桐 有香(文 1)

本澤 雄一(二部 経済3)

佐藤絵梨子(二部 法3)

## 商学研究科修士課程に「商学特修コース」

06年(平18)から

大学院商学研究科では、学部卒業と大学院修士課程を継続して5年間で修了する「商学特修コース」を、06年度(平18)から設置することを決定した。

教育内容や出願資格、選考方法、履修方法などについて3年次生(1部・2部)を対象とした説明会を開催する。

◇日時=7月25日(月)14時40分～

◇場所=生田キャンパス702号教室

◇その他=大学院に興味がある、1・2年次生の参加も可能。

※詳細は掲示または大学院事務課まで。電話 044(・3分)911)1271